

ゲームもクリエイティブも

『AMD Ryzen™ 9000 シリーズ』にお任せ!!

ゲーマーの熱い視線を集める「AMD Ryzen 7 9800X3D」と、16コア/32スレッドの高い性能を誇る「AMD Ryzen 9 9950X」をまとめて大紹介だ!

「AMD HEROES」
で詳細をチェック!



Zen 5アーキテクチャーとなり
さらに性能アップ



↑「Zen 5」アーキテクチャーは今後の技術基盤とすべくオーバーホールが施された。

性能向上と高効率が目玉の「Zen 5」
ゲームに強いCPU「AMD Ryzen™ 7 9800X3D」と、クリエイティブ用途で高い性能を発揮する「AMD Ryzen™ 9 9950X」は、新CPUアーキテクチャー「Zen 5」を基盤とするCPUだ。Zen 5世代は、同コア数/同クロックの「Zen 4」世代と比べ最大16%のIPC(動作クロックあたりの命令実行数)が向上している点やTDPが低い点がメリットだ。CPUコアを満遍なく使う状況では動作クロックを抑えて消費電力や発熱を下げつつ、IPC向上により従来世代以上の性能を発揮できる。

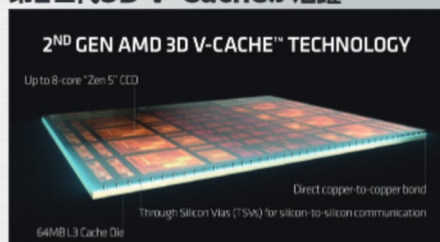
3D V-Cacheが魅力の大本命 ゲーマー向けCPU 『AMD Ryzen™ 7 9800X3D』

最強

AMD Ryzen 7 9800X3Dは、多くのゲーマーが待ち望んでいたCPUだ。Zen 5世代のためそもそも性能が高く、新採用の第2世代3D V-Cache分の64MBを含む計96MBもの3次キャッシュのおかげで、ゲームによっては高いフレームレートで描画できる。また最小フレームレート(1% Low)への影響も大きく、より滑らかに安定した描画につながっている。例えば「Cyberpunk 2077」の場合インテルの「Core Ultra 9 285K」に比べ59%もパフォーマンスが高い。

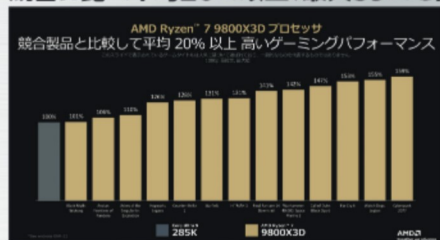


第2世代3D V-Cacheが活躍



←第2世代3D V-Cacheは、従来とは構造設計が異なる。この変更のおかげで、AMD Ryzen 9000シリーズと同様にオーバークロックができるようになった。

競合に比べ平均20%以上、最大59%も高い



←フルHD / 最高画質に設定したゲーム13本において、「AMD Ryzen 7 9800X3D」は「Core Ultra 9 285K」と比べ平均20%以上、最大59%もゲームパフォーマンスが高い結果となった。

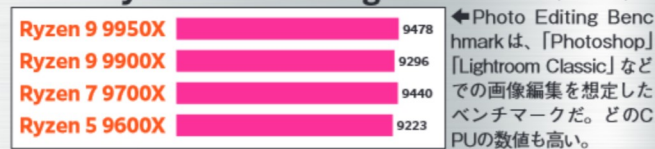
驚異の最大16コア32スレッド クリエイター向けCPU 『AMD Ryzen™ 9 9950X』

至高

AMD Ryzen 9 9950Xをはじめ、AMD Ryzen 9 9000シリーズはコア数/スレッド数が多く、マルチタスクに強い点が魅力だ。動画エンコード、3Dレンダリングなどクリエイティブ用途で作業効率の向上が見込める。低発熱のため冷却しやすく、長時間の負荷をかける作業にも最適だ。

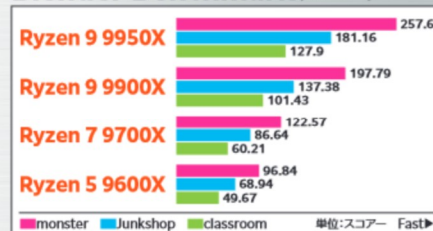


UL Procyon:Photo Editing Benchmark(スコア)



←Photo Editing Benchmarkは、「Photoshop」「Lightroom Classic」などでの画像編集を想定したベンチマークだ。どのCPUの数値も高い。

Blender Benchmark(スコア)



←CPUだけで3D CGのレンダリングを実施した結果をまとめた。「AMD Ryzen 9 9950X」などコア数/スレッド数が多いCPUほど好成绩となっており、マルチタスクに強いことが分かる。

AMD Ryzen 9000シリーズのコア数/スレッド数、TDP

	コア	スレッド	TDP
Ryzen 9 9950X	16	32	170W
Ryzen 9 9900X	12	24	120W
Ryzen 7 9700X	8	16	65W
Ryzen 5 9600X	6	12	65W